



NPO法人(準備中) 原発ゼロ市民共同 **かわさき発電所 ニュースレター**

でん太通信

den ta tu ~ sin

●発行 2014.9.15 原発ゼロ市民共同かわさき発電所(NPO 法人申請中)

●発行責任者 川岸卓哉

■「NPO法人設立総会& 記念シンポジウム」開催報告■

7月27日、NPO法人設立総会と記念シンポジウムを開催しましたのでご報告します。

NPO法人設立総会では、設立趣意書が確認され、14名が理事になりました。長年、NPO活動や市民活動を行っている地域の名士から、若手、大学生まで、幅広い方が理事に名を連ねました。なお、私達の活動は、開かれた運営としたいと考えており、理事であるかにかかわらず、全体会議で議論し進めていきます。



設立総会シンポジウムでは、ノンフィクションライターの高橋真樹さんの記念講演から始まりました。

高橋さんは、「自然エネルギー革命をはじめよう 地域で作るみんなの電力」の著者で、自然エネルギーが単に原発に代替する電源であるにとどまらず、社会を変えていくツールという考えを話していただき、私達の理念と共鳴するものでした。

その後、当団体の活動紹介の後、ご縁のあった方々からのリレートーク。一般社団法人グリーンファンド秋田事務局長の鈴木伸予さん、川崎市民共同おひさまプロジェクトの飯田和子さん、エネルギーから経済を



を考える経営者ネットワークの小山田大和さん、足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわの山崎求博さんから、川崎市内外の取り組みについて、ご紹介頂きました。市民電力が、全国で草の根の大きなうねりとなりつつあります。私達も、川崎において、仲間たちと連帯し、その一翼を担えるようにと決意を新たにしました。



私達の活動は、3. 1 1 福島原発事故後の川崎における原発ゼロを求めるアクションから生まれ、少しずつ共感の輪を広げ、活動開始から約1年で、NPO法人設立総会に至りました。年内中の川崎市中原区に発電所一号機の運転開始を第一歩として、さらにこの活動を広げていかなければなりません。私達の設立の理念である、福島の子供を原点とし、二度と公害を繰り返さない、原発のない社会を目指した市民による市民のためのエネルギー革命を胸に刻み、これから一歩ずつあゆみを進めていきます。みなさまのご参加、ご支援お願いいたします。 理事長 川岸 卓哉

【原発ゼロ市民共同かわさき発電所 私たちのミッション】

2011年3月11日。

東京電力福島第一原子力発電所で起きた事故は、原発が安全ではなく、人間には制御できない危険なものであることを示しました。

原発事故によって、福島ではふるさとの自然、平穏な暮らしが破壊されました。

海、山、空気、水が原発事故で排出された放射性物質によって汚染され、被ばくにより、ここ川崎でも命と健康が脅かされ続けています。

これまでの日本の電力には、発電による利益を一部の企業が独占するという構造的な問題があり、命や暮らしより経済が優先されてきました。

これは、経済成長の名のもとに、かつて川崎でも起こった大気汚染公害とも共通する、繰り返されてきた環境破壊の歴史です。

私たちは危険な原発を必要としない未来をつくるためには、この負の連鎖を断ち切り、大企業による大規模一極集中型ではなく、地産地消・地域分散型での自然エネルギーによる発電の普及が必要だと考えます。

そこで、私たちは市民を主体としたエネルギー構造を目指して、川崎で自然エネルギーによる電気を生み出し、市民の輪を広げていこうと決意しました。市民発電を多く普及させることによって、既存のエネルギー供給体制を変革していくことを目指します。

これは、市民による、市民のためのエネルギー革命です。

私たちは、危険な原発を必要としない未来をもとめ、川崎に自然エネルギーによる市民共同発電所を創ることから始めます。



【役員】 理事長 川岸卓哉
副理事長 三枝信子、田中哲男、加藤伸子
理事 齋藤光司、田邊勝義、川口洋一、丸山健二、町井弘明、
松野篤、石村早苗、高橋喜宣、玉田恵美子、塩田悠玄
監事 鴨下元



■事業検討チームから■

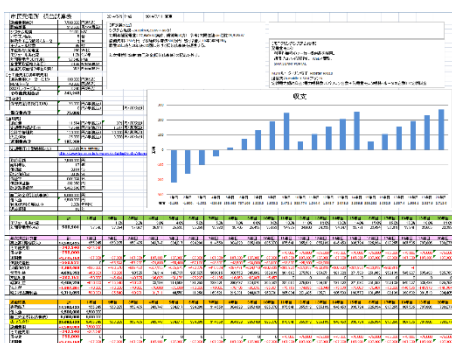
私、木田とはある出前発電所のイベントで川岸さんにご縁があり、電力事業チームの一員として活動しています。

【設置予定場所の見学】 2014年4月19日に元住吉駅近くの発電所設置予定場所である3階建てのマンションを見学しました。そのときに田中さん一家とオーナーの田邊さんに初めてお会いしました。田邊さんに梯子を用意してもらい、屋上に上がったらずら障害物もなく、真南向きの太陽光発電に絶好の陸屋根でした。みんなで50kWのるのでは？ とぬかよろこびしていた記憶は新鮮に覚えています。あのときはまだ青かったです(-_-)。



【設置方法】 図面を田邊さんからいただき、設置方法の検討をしたら屋根のコンクリートの厚さ（スラブ厚さ）が13cmとのことでした。公共施設の陸屋根は厚さが20cmあるところもあるそうで、太陽光発電業者に見積依頼をしたら、かなりの業者から厚みが足りないということで断られました。通常陸屋根は堅固な基礎を組むアンカー工法をとり、一定以上のスラブ厚さを日本のパネルメーカーが要求します。その厚さが20cmなのです。また、屋上は1年前に防水工事をしており、できるだけ穴を開けたくないオーナーの希望がありました。WEBで公開している市民発電所を見ますと、結構置き架台方式を採用していることがわかりました。ネット検索で見つけた置き架台の構築実績のある横浜市磯子の太陽住建に見積を依頼し、快く対応いただきました。一方、麻生区クールアースの伊藤さんからエコテックの紹介を受けました。エコテックは太陽光発電の黎明期から市民発電所に取り組んでおり、ワーカーズコープといわれる形態で活動をしています。

その厚さが20cmなのです。また、屋上は1年前に防水工事をしており、できるだけ穴を開けたくないオーナーの希望がありました。WEBで公開している市民発電所を見ますと、結構置き架台方式を採用していることがわかりました。ネット検索で見つけた置き架台の構築実績のある横浜市磯子の太陽住建に見積を依頼し、快く対応いただきました。一方、麻生区クールアースの伊藤さんからエコテックの紹介を受けました。エコテックは太陽光発電の黎明期から市民発電所に取り組んでおり、ワーカーズコープといわれる形態で活動をしています。



【損益試算表の作成】 収益を把握するため、20年間の損益計算書と資金繰表をエクセルで作成しました。年間予測発電量、モジュール劣化率、建設協力金、償却資産税、減価償却費、保守・運用費、支払い利息、法人税の項目を表に組み込み、年単位のキャッシュフローを把握し、メンバーと検討を重ねました。

←エクセル損益試算表の図

【パネルメーカー】 設備費用を少しでも安くするため、中国製パネルメーカーの検討をしました。海外メーカーの場合、不良発生時の対応に課題があるものの、価格は日本メーカーよりかなり安く魅力的です。一方、サポートの厚い日本メーカーは実発電量の高いCIS化合物系のソーラーフロンティアを考えています。単位面積当たりの発電量が小さいですが、価格はシリコン系より少し安く、局所的な影に強いのと、高温でも発電量の低下が小さく、発電性能の経年劣化率が低いメリットがあります。なんとといっても発電量診断サイトであるソーラークリニックではCIS系は上位ランクを独占しています。ですが価



格が高いのが難点です。ソーラークリニックには、原発ゼロ市民共同かわさき発電所の知名度を上げるためにも今後登録予定です。

【発電量モニタリング】 私たちは遠隔からの発電量モニタリングが重要と位置づけています。一般的な市民共同発電所では定期的に設置場所に訪問し、電力会社の検針結果「購入電力量のお知らせ」、または現地のモニターを見て発電量を確認する方法がとられていますが、私たちの発電所はパソコンやスマホがあればリアルタイムに近い形で発電量が把握できる仕組みを考えています。それが対応可能な太陽光発電システムメーカー、あるいは太陽光パネルが発電する直流を交流に変換するパワーコンディショナー（パワコン）を検討しました。

太陽住建からドイツのSMAというパワコンメーカーの提案を受けました。SMAは日本ではほとんどなじみがないですが、全世界では半分弱のシェアを持っているとのこと。提案された屋外型パワコンは容量が小さめながらも冷却ファンが無いので閑静な住宅街でも大丈夫です。実は、空冷ファンタイプの屋外型パワコンを設置したため周辺住民から騒音苦情になっている太陽光発電所は少なくありません。ですから静音性はかなり重視しています。また、SMAのすごいところはクラウド型の発電量モニタリングシステムを無料で利用できることです。他のパワコンメーカーは有料サービスです。

【定期点検の必要性】 太陽光発電装置はノーメンテナンスといわれますが、不具合は少なくありませんから、定期点検が必要かどうかを検討しました。発電量モニタリングで発電量の変化があれば不具合の有無はわかるので定期点検は必要ないとも考えられますが、設置業者によっては10年間無料点検サービスもあり、パネルの異常発熱による火災防止の観点からも点検サービスは活用したいところです。

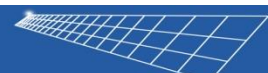


【設置業者提案会】 太陽住建とエコテックの2社が残り、8月末から9月初旬にかけて提案会を実施しました。業者の考え方を知る良い機会でした。太陽住建はアンカー不要な置き架台、エコテックはパラペットにアンカー固定する方式での提案でした。提案会でわかったことですが、置き架台は暴風での架台浮き上がりを防止するため架台を押さえるバラストがいることでした。これが結構な重さで積み重なると数トンあります。一方、アンカー工法ではバラストは不要です。オーナーの田邊さんの屋根を借りるわけですから、あまり屋根に負担をかけるわけにはいきません。建築に詳しいメンバーに荷重計算をしてもらった結果、置き架台方式は見合わせる方向で考えています。

【スケジュール】 業者と契約を結んでからおよそ2カ月半で運転開始できることを確認しております。10月に業者と契約、12月に運転開始（点灯式）を進めてまいります。

【おわりに】 市民発電所は東日本大震災後は日本全国津々浦々で活性化していますが、システム仕様を詳しく示したところはほとんどありません。私たちで作る市民共同発電所は技術的にもこだわりを持ち、さらに今後の市民共同発電所のお手本になればと考えています。

事業検討チーム 木田 千栄美



■政策検討チームの紹介■

NPO法人（申請中）原発ゼロ市民共同かわさき発電所の太陽光発電所一号機の建設実現が目前に迫っています。市民出資によって自然エネルギーの普及が進むこと、政府に頼らなくても私たち自身の力で原発がいらなくなる客観的状況をつくる第一歩が踏み出せることは喜ばしいことです。

同時に、私たちのNPO法人の設立の目的は、団体名に「原発ゼロ」という文字があるように、福島第一原子力発電所事故の教訓から原発推進政策の抜本的転換を政府に求め、原発の代替エネルギーとして再生可能エネルギーを普及させ、原発のない日本をつくることにあります。



6月1～2日、長野県飯田市への
自然エネルギースタディツアー

そのためには、市民発電所の建設とあわせて、国、電力会社、地方自治体に市民の声を届けていく必要があります。また、その前提として、現在の電力業界の利権構造の仕組みや問題点、自然エネルギー普及のために必要な支援策などについて時間をかけて学習、調査、研究、分析をおこなう必要があります。私たちのNPO法人の中で、その役割を担う部門が「政策検討チーム」です。最終決定は理事会や全体会議でおこないますが、その原案をつくることになります。



7月3日、川崎市環境局地球環境推進室
の職員と意見交換

「政策検討チーム」は、現在、メンバーを募集しております。自然エネルギーや電力問題に詳しくなくても、一緒に学び探求したいという方の参加、歓迎です。

現在、チーム会議には5名～10名が参加して、長野県飯田市や世田谷区など全国各地の先進的な市民電力の取り組みの事例研究、再生可能エネルギー固定価格買い取り制度の問題点の分析、多摩区中野島の市営住宅への太陽光パネル設置を求める運動の支援と分析、川崎市での住民投票による原発ゼロ実現のための行動の研究などをおこなっています。

7月3日には川崎市の川崎市環境局地球環境推進室の職員3名に来ていただき、川崎市が行政としておこなっている自然エネルギーの現状について説明をうけ意見交換しました。

今後、「でん太通信」の中で「政策検討チーム」としての、個別の提言や政策を掲載していきますが、今回は創刊号ということで、まずは「政策検討チーム」そのものの紹介をさせていただきました。よろしくお願いいたします。

政策検討チーム かもした 元



■自己紹介コーナー■

私たち「原発ゼロ市民共同かわさき発電所」では、『レッサーパンダのでん太くん』をメインビジュアルキャラクターとして起用する運びとなりました！『立つ動物界のプリンス』として名高い彼の素顔をご紹介します。

～立つ動物エネルギー～
レッサーパンダのでん太くん

発電レッサーパンダ

体長 53cm

体重 5.2kg

食べ物 笹

趣味 ダンス、子供と遊ぶ

契約料 年俸・笹3000万枚（5年契約）



でん太くんは、川崎市中原区に棲息しているレッサーパンダです。けれど、ただのレッサーパンダではありません。みなさんには、でん太くんの尾っぽに電球が見えますか？ ……そう、でん太くんは、「発電レッサーパンダ」という、とても珍しい種類のレッサーパンダなんです！

レッサーパンダは、ときどき2本足で立ちあがる事で知られています。川崎にある『夢見ヶ崎動物公園』という所で飼育されているレッサーパンダも、立ち上がる事が出来るそうです。もちろん、発電レッサーパンダも立ち上がる事が出来ます。しかし、それだけではありません。発電レッサーパンダは、立ち上がる時の運動エネルギーを利用して、なんと電気を生み出す事ができるんです！

生み出した電気は、尻尾に伝わって、電球を光らせる事が出来ます。でん太くんさえその気になれば、扇風機も動かせます。エアコンだって、3秒くらいなら動かせます。大好物の笹さえおなかいっぱいに食べる事ができれば、でん太くんは沢山動いて沢山発電します。子供が大好きなでん太くんは、自分で発電した電気を川崎の子供がいる家庭に分けている

そうです。もしかしたら、今夜はあなたのおうちにでん太くんがやってきて、こっそりと明かりを灯していくかもしれませんね。

～でん太くんのマネージャーより～

この度は栄誉ある役柄にでん太くんをご抜擢下さり、心より感謝を申し上げます。私はでん太くんのマネージャーである、平野と申します。当初、皆様がイメージキャラクターを探していると知り、私はすぐに「でん太くんしか居ない！」と思い当りました。レッサーパンダは川崎の名物のひとつですし、彼の奉仕的な精神は、皆様の目指す「市民による市民の為のエネルギー革命」にぴったりだったからです。また、でん太くんの発電する電気は、自然エネルギーに他なりません。現代科学を超えた発電効率で灯すでん太くんの電球で、皆様の未来を少しでも明るく照らしていく事を目指して、今日も私はでん太くんに笹を与え続けます。お任せください、彼の健康管理は万全です！



平野 賢治
かわさき発電所アート部部长
でん太くんマネージャー
「でん太くんの出演依頼はお気軽に ご用命下さい！常に前向きな検討をします！」

■原発ゼロ市民共同かわさき発電所■（NPO 法人申請中）

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189（川岸）

【編集後記】

暑かった夏も過ぎ、夜ともなれば虫の音が聞こえ、落ち着いて“何か”に没頭したくなるような季節・・・さて、どんな秋にしようかな。

このたび創刊号を発行する運びとなりました。4ページの予定でしたが勢いあまって6ページになってしまいました。当会の熱い想いが伝わりますことを願いつつ、末永くご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。（加藤伸子）

